

(第1-1号様式)

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 9日

奈良県知事 殿

提出者住所 奈良県橿原市雲梯町594番地

氏名 三和澱粉工業株式会社

代表取締役 伊藤 歩

電話番号 0744-22-5531

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条9項（奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5）の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三和澱粉工業株式会社
事業場の所在地	奈良県橿原市雲梯町594番地
計画期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
1 事業の種類	食品製造業
2 事業の規模	製造品出荷額342億円（令和4年度実績）
3 従業員数	265名

④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>(汚泥)</p> <p>再生処理業者に委託し、セメント原燃料として再資源化</p> <p>再生処理業者に委託し、堆肥として再資源化</p> <p>再生処理業者に委託し、路盤材として再資源化</p> <p>(廃プラスチック類)</p> <p>再生処理業者に委託し、RPFとして再資源化</p>
-----------------	---

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<p>(管理体制図)</p> <p>EMS 運用事務局</p> <p>↓</p> <p>工場次長 (環境管理責任者補佐)</p> <p>↓</p> <p>工場長 (環境管理責任者)</p>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
1 現状	【前年度 (令和4年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	1 汚泥	2 廃プラスチック類
	排出量	2,612 t	194 t
	産業廃棄物の種類	3 —	4 —
	排出量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		有用物の回収、工程改善による廃棄物の削減
②計画	【目標】		

	産業廃棄物の種類	1 汚泥	2 廃プラスチック類
	排出量	2,700 t	200 t
	産業廃棄物の種類	3 —	4 —
	排出量	— t	— t
(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度は前年以上の稼働を見込む。 ・ 工程改善による産業廃棄物の削減を行う予定。 ・ 更なる分別の徹底を行なう予定。 			
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥、廃プラスチック類はそれぞれに分別し、保管している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし		
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
1 現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	1 —	2 —
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	産業廃棄物の種類	3 —	4 —
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1 —	2 —
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	産業廃棄物の種類	3 —	4 —
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1 —	2 —
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1 —	2 —
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 実施する予定はない。		
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1 —	2 —
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 特に実施していない。		
	②計画	【目標】	
産業廃棄物の種類		1 —	2 —
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		— t	— t
（今後実施する予定の取組） 実施する予定はない。			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

1 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1 汚泥	2 廃プラスチック類
	全処理委託量	2,612 t	194 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1,209 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	2,612 t	194 t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	産業廃棄物の種類	3 —	4 —
	全処理委託量	— t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
	産業廃棄物の最終処分量をゼロにした。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1 汚泥	2 廃プラスチック類
	全処理委託量	2,700 t	200 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1,100 t	0 t
	再生利用業者へ	2,700 t	200 t

			の 処理委託量				
			認定熱回収業者への 処理委託量	—	t	—	t
			認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	—	t	—	t
			産業廃棄物の種類	3	—	4	—
			全処理委託量	—	t	—	t
			優良認定処理業者への処 理委託量	—	t	—	t
			再生利用業者への 処理委託量	—	t	—	t
			認定熱回収業者への処 理委託量	—	t	—	t
			認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託量	—	t	—	t
			(今後実施する予定の取組)				
			産業廃棄物の最終処分量ゼロを維持する。				